

琉球大学の教育研究上の目的

琉球大学では大学設置基準第2条の2の規定に基づき、学部、学科又は課程ごとに、「人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的」を下記のとおり定めています。

学部	学科・課程	人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的
法 文 学 部	総合社会 システム学科	社会科学の幅広い知識を持ち、現代社会の諸問題を総合的かつ多角的に分析できる人材や、問題の発見及びその解決の能力を有し、情報処理能力及び実践的言語能力を備えた国際性豊かな人材の育成。それを支える法律、経済、政治・国際関係の各分野の基礎的及び応用的研究。
	人間科学科	人間の本質や行動を理解するという共通の目標に向かって、認知・行動科学の立場から、さらに文化や歴史や地域を学ぶ立場からさまざまなアプローチを加えることによって、人間と社会と文化との関係を複眼的にとらえることができる人材の育成。それを支える人間行動、社会学、地理歴史人類学の各分野の基礎的及び応用的研究。
	国際言語 文化学科	琉球・アジアおよび英米をはじめとする英語圏・ヨーロッパなどの言語・文学・文化・社会・歴史を深く理解し、異文化理解に不可欠な幅広い知識とコミュニケーション能力を身につけ、かつ各研究分野の専門知識を備えた、社会で幅広く活躍できる人材の育成を図る。
観光産業科学部		本学部は、本学が目指す「地域特性と国際性を併せ持つ大学」の一組織として、沖縄及びアジア太平洋地域の観光及び独自の産業特性に焦点をあて、持続的発展に資する観光科学と経営学の教育研究を推進し、国際的に通用する実践型人材の育成を目指すとともに、学術的研究成果を社会に還元することを目的とする。
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄の地理的、文化的、歴史的な特性を活かし、持続可能な地域社会の形成に主体的に参加し、貢献できる教員を育成する。 国際的な視野と教養を身につけ、子供の教育と学問、文化を追求する教員を育成する。
	生涯教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会に根ざした教育文化活動を企画・立案し、実践する人材を育成する。 広い教養とともに高い専門性を追求し、教育文化活動を実践的に支援する人材を育成する。

本学部は、普遍的な基礎科学の重要性を念頭に置き、優れた人材の育成と理学分野の研究の発展を目指し、更に、亜熱帯島嶼の特性を生かした特色のある教育研究を推進することを目的とする。

理 学 部	数理科学科	諸科学の基礎としての数理科学の教育研究を行うとともに、数理科学的素養を持ち、社会の多様化と時代の変化に柔軟に対応できる幅広い教養を身に付けた人材を育成することを目的とする。	
	物質地球科学科	物理系	多様な自然現象を物理学的に探求し、体系的な理解を通して普遍的法則や考え方についての研究を行うとともに、それらを身に付け、社会や学問の世界において自立できる人間を育て、物理学を通して人類の幸福と社会の進展に貢献できる人間を育てることを目的とする。
		地学系	大気、海洋並びに地表から地球深部までを対象とし、琉球列島の地理的位置、気候、地質を活かした基礎教育と研究を行い、地球科学を基盤として地域並びに国際社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。
	海洋自然科学科	化学系	多様な物質の反応・構造・機能を分子科学的に理解する基礎的化学に加えて、新規物質の創成や亜熱帯・島嶼・海洋の地域特性を生かした天然物・環境分野の化学的教育研究を行い、化学的素養を基礎に幅広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とする。
		生物系	琉球列島の恵まれた自然環境を実体験の場として活用した生物学教育並びに自らの生物学的素養を地域から国際社会までの様々な領域で発揮できる人物の育成を目的とする。
医 学 部	<p>(1) 島嶼環境にある沖縄県のおかれた自然的・地理的条件並びに歴史的背景をふまえ、地域医療を充実させる。</p> <p>(2) 国民の医療、福祉、保健の向上に貢献するとともに、南に開かれた国際性豊かな医学部として発展させ、東南アジアを主とする諸外国との学術交流及び保健・医療協力に寄与する。</p>		
	医 学 科	医学に関する専門の学術を修得し、医の倫理を身につけ、医学の進歩に柔軟に対応しうる医師、研究者を育成する。	
	保 健 学 科	保健学に関する専門の学術を修得し、生命を尊重する思いやりを持った、地域社会並びに国際社会に貢献する保健医療専門職者を育成する。	

工学部の教育研究上の目的は、基礎科学の成果を、実際の産業や人間の生活・福祉等に役立つよう応用・開発することにある。本学部では、今日の工業・技術社会の要請に応え、幅広い教養と技術者倫理及び高度な専門知識を有し、社会及び地域環境保全や平和に貢献し得る、豊かな創造力と実践力を備えた技術者・研究者を育成することを目的とし、各学科の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

工 学 部	機械システム工学科	機械システム工学の基本的な学問体系を教授し、製造業の発展に必要な設計力、製造技術及び自己学習能力と問題解決能力を持つ人材を育成することを目的とする。
	環境建設工学科	教育課程に土木コースと建築コースを置き、自然環境と調和のとれた安全で豊かな社会を建設するための人材を育成することを目的とする。
	電気電子工学科	産業発展の推進役を担う学問分野である電気、電子、通信及びシステム工学に関する基礎的な知識から高度の専門知識を備えた創造力豊かな人材を育成することを目的とする。
	情報工学科	社会の様々な分野において情報通信技術を応用できる広範な知識と技術を備えた人材（総合情報コース）と、より深い計算工学の知識と技術を備えた人材（計算工学コース）を育成することを目的とする。

本学部は、沖縄の亜熱帯島嶼性という地理的・自然環境条件及び歴史的・文化的特性を生かし、生物の生存環境と人間の共生を目指して、持続的食料生産、地域農業、環境保全、生物資源・エネルギー利用、長寿・健康及び発酵・生命に関する専門教育と研究を深化させ、その成果の蓄積・活用と人材育成によって、地域社会並びに国際社会の発展に貢献することを目的とする。

上記の目的を達成するために次の教育目標を置く。

- (1) 亜熱帯地域特有の生物多様性や、アジア・環太平洋地域の玄関口という地理的特性を生かし、農業・食料・環境・生命に関する科学の基礎を修めた総合的教養人を育成する。
- (2) 豊かな創造力と応用力を持ち、国際性を兼ね備え、地域社会及び国際社会で活躍できる人材を育成する。
- (3) 豊富な知識と柔軟な思考能力を併せ持ち、現代社会のニーズに対応できる専門職業人を育成する。

農 学 部	亜熱帯地域農学科	亜熱帯地域農学科は、国際的な視点で地域農林畜産業の振興に携わる指導力のある有用な人材、並びに地域資源循環システムに基づく持続的農業生産並びに農と社会との共生を構築できる実践的人材の育成を目的とする。
	亜熱帯農林環境科学科	亜熱帯農林環境科学科は、資源生物や野生生物とそれらを取巻く環境の機能・特性の解明を通じ、生物や環境に関連する分野で活躍する有能な人材の育成、並びに生物多様性の価値を理解し、豊かな環境の確保と保全に貢献できる実践的人材の育成を目的とする。
	地域農業工学科	地域農業工学科は、農村環境整備と緑・土・水資源の保全と改善に貢献できる有能な人材、並びに情報技術を応用し、食料生産から流通・加工に係わる農業生産及びエネルギーシステムに関する社会的要求を総合的に問題解決できる実践的人材の育成を目的とする。
	亜熱帯生物資源科学科	亜熱帯生物資源科学科は、亜熱帯生物資源の機能開発と高度利用に関する専門知識と技術を有する有能な人材、並びに生物資源関連産業、発酵産業及び健康・食品産業の振興・発展に貢献できる実践的人材の育成を目的とする。